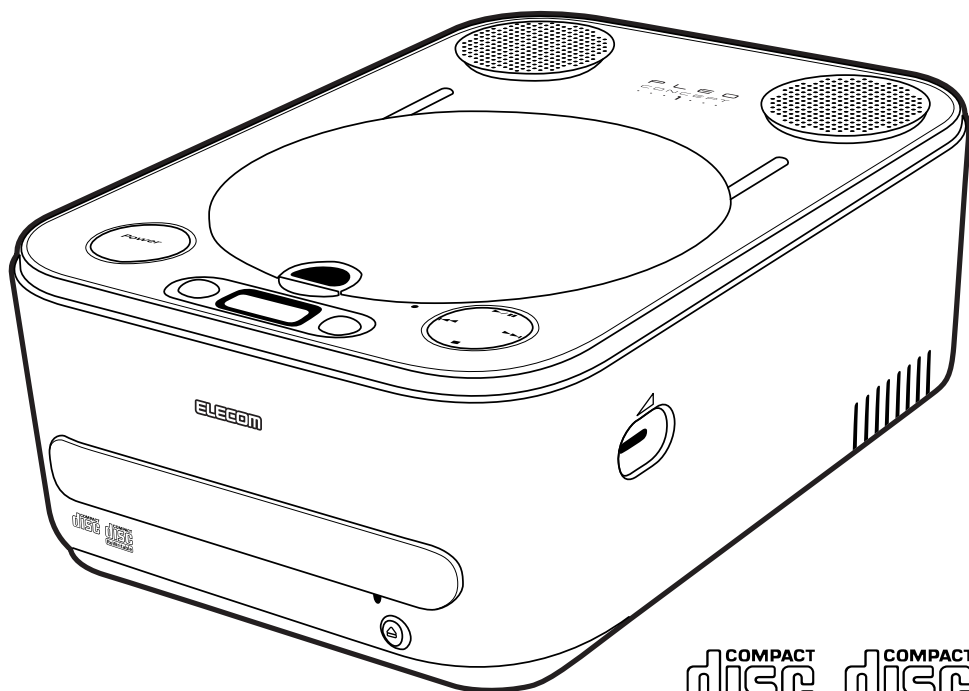


ELECOM

CD RECORDER PLEO-1

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、
使用する前に、取扱説明書をお読みください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要に
なったときにくり返しお読みください。



COMPACT
disc

COMPACT
disc
ReWritable

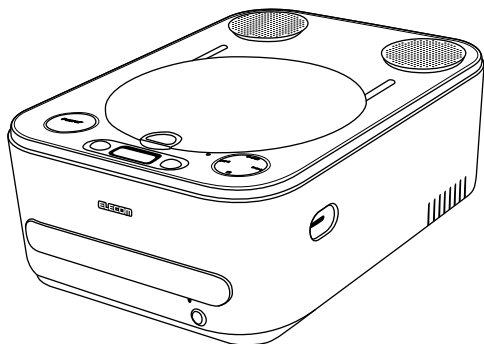
もくじ

パッケージの内容を確認する	3
安全上のご注意	4
名称と働き	8
ご使用になる前に	10
電源を入れる	10
CDを入れる	10
CDを取り出す	11
使用上の注意	12
音楽CD再生時	12
音楽CD録音時／データCDバックアップ時	12
ディスクについて	12
その他	12
録音・バックアップできるCD-R／CD-RWについて	13
音楽CDを聴く	14
ディスクを入れる	14
再生をはじめる	14
音量を調節する	15
ヘッドホンで音楽を聴く	15
MDレコーダー等に接続しての録音	15
CDを録音・バックアップする	16
録音・バックアップするまえに	16
音楽CDを録音する	17
データCDをバックアップする	18
CD-RWの消去	19
トラブルシューティング	20
故障かな？と思ったら	20
CDの強制排出	20
メッセージ表示の一覧	21
仕様	23
保証とサポートサービス	23

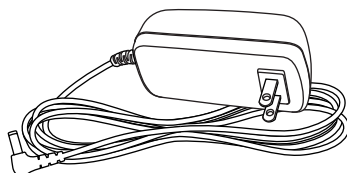
パッケージの内容を確認する

本製品のパッケージには、次のものが入っています。ご使用になる前に、すべて揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不良品、破損品などありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

●本体 (PLEO-1) 1台



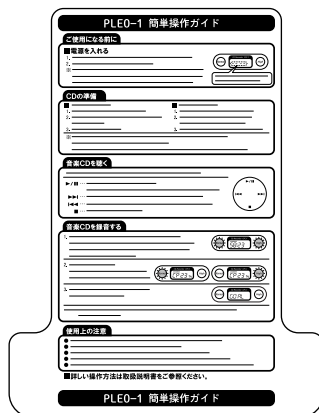
●ACアダプター 1個 本製品専用のアダプターです



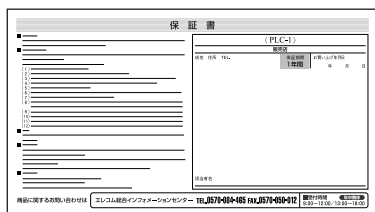
●取扱説明書 (本書) 1冊



●簡単操作ガイド 1枚



●保証書 1枚



安全上のご注意

必ずお守りください

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。



警告

…この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

…この表示の欄は「損害をおう可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵記号の例



…この絵表示は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



…この絵表示は、してはいけない行為(禁止)であることを告げるものです。



…この絵表示は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告

■ご使用について



修理、改造、分解をしない。感電の原因となります。



機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない。ショート、発熱による火災や感電の原因となります。



機器の上に液体の入った容器や金属物を置かない。
特にお子様にはご注意ください。



レーザー光線をのぞきこまないでください。
レーザー光線が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

■電源について



電源コード、プラグを破損、傷つけるようなことはしない。



傷つけたり、延長および加工したり、ねじったり、重いものをのせたり、束ねたりしない。火災、感電の原因となります。



コンセントや配線基部の定格を越える使い方や、交流100V以外での使用はしない。
たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを取り除くこと。
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

■電源について



濡れた手でACアダプターを抜き差ししないこと。感電の原因となります。



電源プラグは根元まで確実に差し込むこと。
傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



本機には付属の専用ACアダプターをご使用ください。

■雷について



雷が鳴りだしたら、本機やACアダプターに触れない。
感電の原因となります。

■もし異常が起きたら



煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



落としたり、キャビネットを破損したときには、すぐにACアダプターをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



機器内部に金属や水、異物が入ったら、すぐにACアダプターをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■設置されるとき



この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用はとくにご注意ください。



風呂やシャワー室、屋外など水のかかる恐れのある場所には置かないこと。
火災、感電の原因となります。



異常に湿度が高くなるところに置かないこと。
直射日光のあたるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因となることがあります。



不安定な場所や、振動のある場所に置かないこと。
本機が落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。



上に物を置かないこと。液体の入ったコップ、花瓶、化粧品のビンなどを本体の上に置かないこと。内部に液体が入った場合、火災、感電の原因となります。
重い物などが置かれて落下した場合、ケガの原因となることがあります。



湯煙や湯気のあたる場所、湿気やほこりの多い場所には置かないこと。
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因となることがあります。



風通しの悪い場所に置かないこと。押し入れ、本箱など、風通しの悪い場所に置くと、内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
テーブルクロス、カーテンをかけたり、じゅうたんの上や布団の上に置かないでください。風通しが悪く、火災の原因となることがあります。



本機は水平に置いた状態でご使用ください。
あお向け、横倒し、逆さ、壁掛けなどしないでください。

注意



移動させる場合は、電源スイッチを切り必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。



長時間ご使用にならないときや、お手入れのときはACアダプターを抜くこと。通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災の恐れがあります。ディスク保護のため、ディスクも取り出しておいてください。



ディスクに指を入れ、挟まれないよう注意する。
指を挟み、ケガの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。



ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと。
大音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



ひび割れ、変形または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってケガや事故の原因となります。



電源を入れる前には、音量を最小にすること。
突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となることがあります。



お手入れの際には安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。



ACアダプターを取り扱う際は、アダプター本体をお持ちください。
コードを引っ張らないでください。故障だけでなく、火災や感電の原因となります。

使用上のお願い

日本国内用です

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

PLE0-1 is designed to be used only in Japan, so it cannot be used outside Japan.

置き場所について

故障などを防止するため以下の場所は避けてください。

- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光が当たるところや、暖房器具のそば
- アンプやテレビのすぐそば
- スピーカーなどの磁気が発生するところ
- ＯＡ機器や蛍光灯のすぐそば
- 不安定なところ
- 振動の激しいところ
- 極端に寒いところや暑いところ

お手入れについて

- 使用環境(温度・湿度・ほこり)などによって異なりますが、およそ1000時間をめどにお手入れされることをお勧めします。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、布を、水で薄めた中性洗剤にひたし、よくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナー、アルコールは絶対に使用しないでください。変色、塗装劣化の原因となります。

結露(霜付き)について

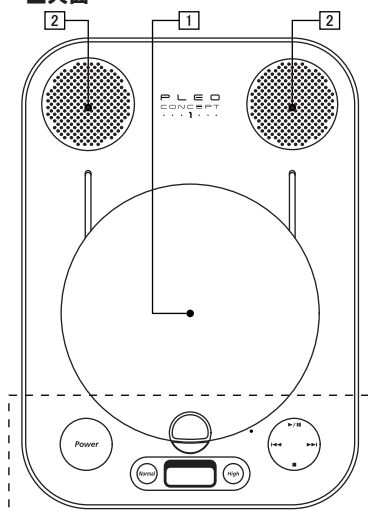
結露がおきると本機のレンズに露(水滴)がついてＣＤが正しく動作(再生・録音・バックアップ)しなくなりますので、結露した場合は、数時間放置し、乾燥してからご使用ください。

＜結露の発生しやすい状況＞

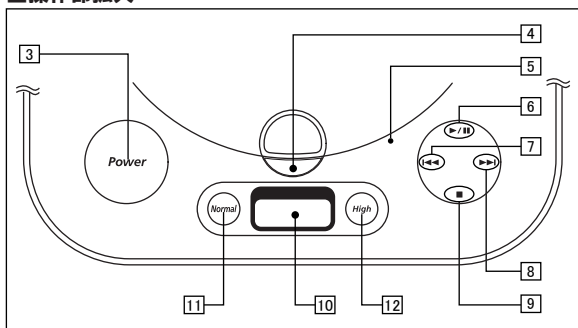
- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき。
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
- 夏季に、冷房のきいた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用したとき。
- 湯気が立ち込めるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

名称と働き

■天面

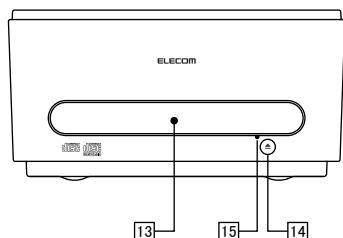


■操作部拡大

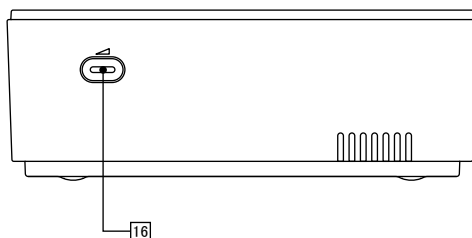


1	CDプレーヤー部	音楽CDの再生、データCDの読み込みを行います。
2	スピーカー部	音声を出力します。音楽CDを再生したときだけ出力されます。ヘッドホン使用時には出力されません。
3	電源ボタン	押して電源を入／切します。
4	CDプレーヤーオープンボタン	CDプレーヤー部のフタを開きます。 ※CDプレーヤーオープンボタンは録音(バックアップ)中の誤動作を防ぐため電気式です。動作中(再生・録音・バックアップ)はフタは開きません。
5	CDプレーヤー強制オープンホール	ここに硬い棒状のものを挿入し、押すことによって、CDプレーヤー部のフタが開きます。 ※この操作は本体の電源を切ってから行ってください。
6	再生/一時停止ボタン	曲の再生/一時停止に使います。 曲の再生中に押すと一時停止、もう一度押すと再生再開します。
7	早送り/次曲スキップボタン	長押しで曲の早送り、短押しで次の曲にスキップします。
8	早送り/次曲スキップボタン	長押しで曲の早戻り、短押しで曲のはじめにスキップします。
9	停止ボタン	曲の再生停止に使います。
10	液晶ディスプレイ(LCD)部	音楽CDの曲の時間やバックアップの進捗状況(%)などを表示します。 ※メッセージ表示については20ページを参照してください。
11	等速バックアップボタン	音楽CDを再生させながら録音するときに押します。 データCDのバックアップでは使用しません。
12	倍速バックアップボタン	音楽CDを倍速録音と、データCDのバックアップをするときに押します。 ※音楽CDを倍速録音時は音楽再生できません。

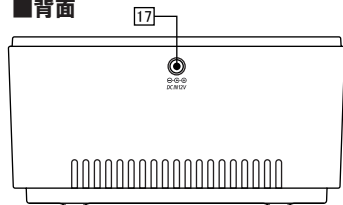
■前面



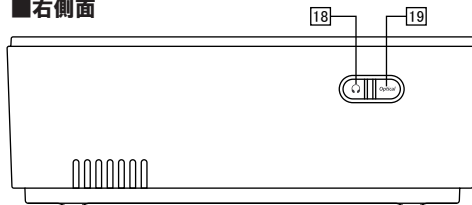
■左側面



■背面



■右側面



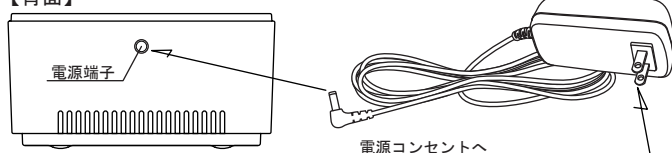
13	CDレコーダー部 (CD-R/RW)	音楽CDの録音や、データCDのバックアップを行います。 CDレコーダー部では音楽CDの再生はできません。
14	CDレコーダーイジェクトボタン	CDレコーダー部のトレイを開閉します。
15	CDレコーダー強制 イジェクトホール	ここに硬い棒状のものを挿入し、押すことによって、 CDレコーダー部のトレイが出ます。 ※この操作は本体の電源を切ってから行ってください。
16	ボリューム	スピーカーやヘッドホン端子の音量を調節するときに使用します。 音楽CDの録音レベルの調整はできません。
17	電源端子	付属のACアダプターを接続します。 プラグをコンセントにさします。
18	光デジタル出力端子	市販の光デジタルケーブルでMDレコーダー等 (光オーディオ入力端子のあるもの)に接続して、録音することができます。
19	ヘッドホン出力端子	ヘッドホンを接続するステレオミニジャック (Φ3.5mm) です。 音楽CDを再生したときだけ出力されます。

ご使用になる前に

㊦ 電源を入れる

1. ACアダプターを本体に接続し、プラグをコンセントにさす。

【背面】



※付属のACアダプター以外
の使用はおやめください。故障の原因となります

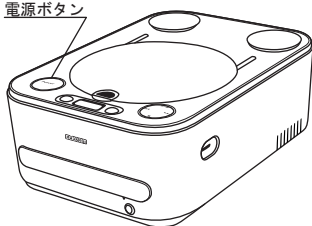
2. 本体電源ボタンを押して電源を入れる。

電源を入れると、LCDに、しばらくの間「- - - -」の表示が点滅します。

「- - - -」の点滅が消えて、LCDの表示が変わる※までは、すべての操作を受け付けません。

ご注意ください。(※20ページ参照)

電源ボタン



「- - - -」の点滅表示が終了するまで、
すべての操作を受け付けません。

㊦ CDを入れる

㊦ CDプレーヤー部

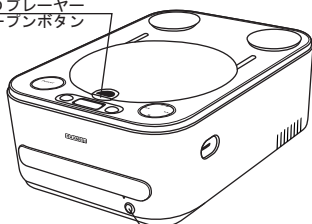
1. オープンボタンを押してフタを開く。
2. 音楽CDまたはデータCDを文字のある面を上にして入れる。
3. フタを手で押して閉める。

※CDプレーヤーオープンボタンは録音中の誤動作を防ぐため電気式です。
LCDの表示が「- - - -」のとき、電源が入っていないときは開きません。

㊦ CDレコーダー部

1. イジェクトボタンを押してトレイを出す。
 2. CD-RまたはCD-RWのディスクを文字のある面を上にして入れる。
 3. イジェクトボタンを押してトレイを閉める。
- ※CDレコーダーイジェクトボタンは電気式です、電源が入っていないときは、トレイは出てきません。

CDプレーヤー
オープンボタン



CDレコーダーイジェクトボタン

□ CDを取り出す

□ CDプレーヤー部

1. オープンボタンを押してフタを開く。
2. ディスクを取り出す。
3. フタを手で押して閉める。

※ CDプレーヤーオープンボタンは録音中の誤動作を防ぐため電気式です。
LCDの表示が「----」のとき、電源が入っていないときは開きません。

□ CDレコーダー部

1. イジェクトボタンを押してトレイを出す。
2. ディスクを取り出す。
3. イジェクトボタンを押してトレイを閉める。

※ CDレコーダーイジェクトボタンは電気式です、電源が入っていないときは、トレイは出てきません。

使用上の注意

㊦ 音楽CD再生時

- CDプレーヤー部のフタを強制オープンしないでください。

㊦ 音楽CD録音時／データCDバックアップ時

- 電源を切らないでください。音楽CD録音中やデータCDバックアップ中に電源を切った場合、データが破損しディスクが正常に使用できなくなるおそれがあります。
- 音楽CD録音中やデータCDバックアップ中は本体を動かさないでください。
- CDプレーヤー部のフタを強制オープンしないでください。
- CDレコーダー部のトレイを強制オープンしないでください。
- CD-R、CD-RW以外ディスクをCDレコーダー部に入れないでください。

㊦ ディスクについて

- 未使用のCD-R、CD-RWのディスクをCDプレーヤー部に入れないでください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- 著しくキズの多いディスクを使用すると、正常に動作(再生・録音・バックアップ)ができないことがあります。
- 廃棄する場合について
ディスクを破棄する場合は不燃物として処理してください。各自治体の条例の定めがある場合には、その条例の指示に従って破棄してください。
機密上、記録されたデータを再生不能にしたい場合は、市販の廃棄処理装置などを使用することをおすすめします。
これらの廃棄処理は、お客様の責任において確実に行ってください。

㊦ その他

- 電源を入れるときは、電源ボタン以外のボタンに触れない。誤動作する場合があります。
- CDプレーヤー部／CDレコーダー部のフタは、電気式になっています。
故障の原因になりますので、無理に開かないでください。
電源OFF時、再生・録音・バックアップ動作時は、OPENボタンを押しても開かない仕様になっています。
- CDプレーヤー部／CDレコーダー部のフタを開いた際、ドライブの部品が見えますが、触れないでください。特に、ピックアップレンズなどに触れますと、故障の原因となりますので、絶対におやめください。
- 使用しないときは、CDプレーヤー部／CDレコーダー部のフタを閉めた状態にしてください。
ちりやほこり、異物の混入による故障を予防できます。
- CDレンズクリーナーはご使用できません。
- 光デジタル出力端子の光源をのぞき込まないでください。
- DVDのバックアップはできません。
- 業務用ではありませんので、連続使用はお控えください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

□ 録音・バックアップできるCD-R/CD-RWについて

本機では以下のメーカーのCD-R/CD-RWディスクにおいて（2004年9月30日現在）動作確認をしています。

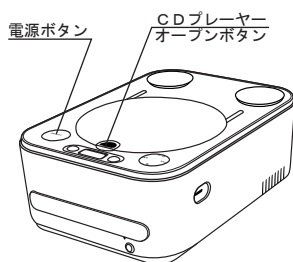
音楽CDを録音する場合は、音楽専用CD-R/CD-RW以外は使用できません。

- 音楽用CD-Rディスク
maxell、SONY、TDK、Victor、太陽誘電、富士フイルム
- 音楽用CD-RWディスク
maxell、TDK
- データ用CD-Rディスク
maxell、SONY、TDK、Victor、太陽誘電、富士フイルム
- データ用CD-RWディスク
TDK、富士フイルム

※上記記載社製品でも、一部対応できないメディアが存在する場合があります。

音楽CDを聴く

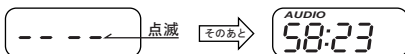
□ ディスクを入れる



1. 電源を入れます。電源を入れると、LCD表示がしばらくの間点滅表示します。その後「nocd」の文字が表示されます。

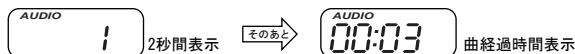


2. LCDに「nocd」の文字が表示されたら、CDプレーヤー部に録音元の音楽CDを入れます(10ページ「CDを入れる」を参照)。フタを閉めると、LCD表示がしばらくの間点滅表示します。その後「AUDIO」の文字が左上に表示されCDの合計時間表示となります。



□ 再生をはじめる

CDの合計時間表示中に▶/■ボタンを押すと1曲目から再生します。曲の最初の2秒間、曲番号を表示し、その後曲経過時間表示します。



□ 好きな曲から再生させる

CDの合計時間表示になったら◀◀・▶▶ボタンを繰り返し押すか、または押したままで聞きたい曲番号を選んで下さい。

聞きたい曲番号が表示されたら▶/■ボタンを押してCDを再生します。

□ 再生／一時停止

曲の再生中に▶/■ボタンを押すと押すたびに、一時停止と再生が切り替わります。一時停止中は、曲経過時間表示、または曲番号表示が点滅表示します。



□ 再生を終了する

■ボタンを押すと再生を終了します。

再生が終了すると曲経過時間表示または曲番号表示が消えてCDの合計時間表示となります。



□ 早送り・早戻しする(サーチ)

再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続けると小さな音量で早送り、早戻し再生します。

手を離れたところから元の音量で再生します。

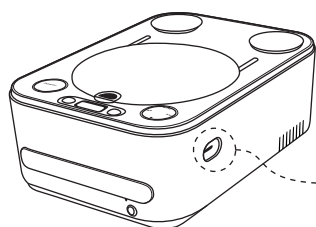
早送り(早戻し)中に次の曲(前の曲)になった時は、1秒間曲番号を表示後、曲経過時間表示します。

一時停止中の早送り(早戻し)は、表示のみ変わります。(再生音はません)

曲を飛び越す(スキップ)

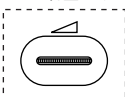
押した方向に飛び越して選んだ曲の最初から再生します。
再生中に ◀◀ ボタンを押すと、その曲の最初に戻ります。
さらに前の曲にスキップするときは、素早く ◀◀ ボタンを押します。
一時停止中でも ◀◀ / ▶▶ ボタンで曲を選ぶことができます。▶ / ■ ボタンを押して曲の最初から再生します。

音量を調節する



ボリュームのつまみを手前に回すと音が小さく、奥に回すと音が大きくなります。

小 ← 音量 → 大

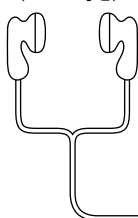


ヘッドホンで音楽を聴く

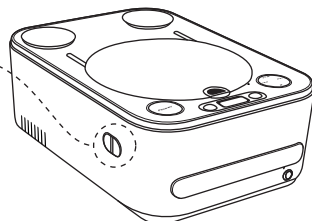
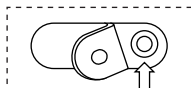
お手持ちのヘッドホンを接続するときは、ヘッドホンのステレオミニジャックをヘッドホン端子にしっかり差し込んでください。

ヘッドホンで音楽を楽しむときは、いったん音量を下げてから、耳を刺激しないような音量に調節してください。またヘッドホンをご使用の際は、音量の上げすぎにご注意ください。

イヤホン(別売)
(EHP-700など)



※キャップをあげて、
ステレオミニジャックをヘッドホン
端子に差し込んでください。



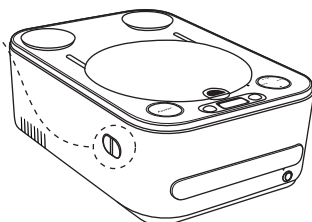
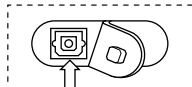
MDレコーダー等に接続しての録音

光デジタル出力端子に光デジタルケーブルを接続して、光デジタル入力端子をもつMDレコーダー等で録音することができます。

※MDレコーダー等の操作については、MDレコーダー等の取扱説明書をご参照ください。

※CDの録音中は、光デジタルの出力はされないので、同時にMD等には録音はできません。

※キャップをあげて、
光デジタルケーブルを光デジタル
出力端子に差し込んでください。



光デジタル入力端子へ ←

光デジタルケーブル(別売)
(DH-HK10など)

CDを録音・バックアップする

録音・バックアップを始める前に

■ 録音・バックアップに使用できるCD-R/CD-RWについて

※ バックアップに使用するディスクは弊社推奨のディスクを使用してください(13ページ参照)
また、ディスクにキズおよびほりこりがないことを確認してください。キズやほりこりがある場合、正常に消去および記録ができない可能性があります。

音楽CD録音用ディスク

音楽用(使用可)



データ用(使用不可)



音楽CDを録音する場合は、
音楽専用※1(DIGITAL AUDIO の文字がある)の
CD-R/CD-RW※2を使用して下さい。

データCDバックアップ用ディスク

音楽用(使用可)



データ用(使用可)



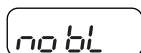
データをバックアップする場合は音楽用/データ用の
CD-R/CD-RW※2を使用できます。

※1 音楽CDを録音する場合は、音楽専用CD-R/CD-RW以外は使用できません。
音楽専用以外のディスクを入れた場合「d t c d」と表示し、CDレコーダー部から排出されます。



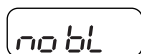
⇒ CDレコーダー部からディスクを排出

※2 未使用のCD-R・CD-RWを使用して下さい。使用済みCD-Rや録音・バックアップできない
ディスクを入れた場合「n o b l」と表示され、CDレコーダー部から排出されます。



⇒ CDレコーダー部からディスクを排出

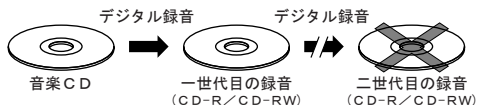
使用済みCD-RWを入れた場合は、「n o b l」と表示しますがCDレコーダー部から
排出されませんので、消去してご使用ください。(CD-RWの消去を参照)



⇒ CDレコーダーからディスクを排出されません
ディスク内のデータを消去をしてください(19ページ「CD-RWの消去」を参照)

■ 音楽CDの録音とSCMS (Serial Copy Management System)について

CD-R/CD-RWディスクは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。
デジタル録音されたCD-R/CD-RWディスクを他のCD-R/CD-RWディスクに
ふたたびデジタル信号のまま録音することはできません。



録音元の音楽CDは、SCMSにより録音のチェックを行います。第一世代のデジタル録音された
ディスクを録音元CDにした場合、SCMSのチェックにより録音不可となり、
NormalボタンとHighボタンは、点灯しません。またNormalボタンまたはHighボタンを押すと
LCDに「SCEr」と表示され録音できません。



点滅しません。どちらかを押すと「SCEr」と表示します

SCMS (Serial Copy Management System)
シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、
各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号を
デジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

トラブルシューティング

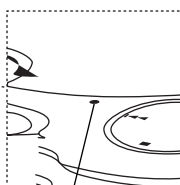
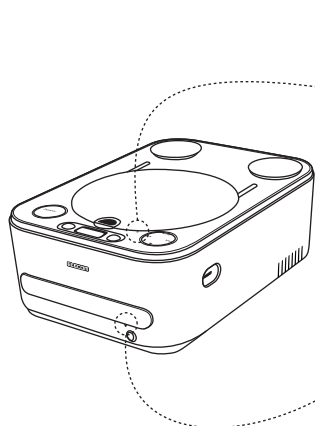
故障かな？と思ったら・・・

症状	処置
CDプレーヤー部のフタが開かない CDレコーダー部のトレイが出てこない	電源を入れる。 ACアダプターの接続、本体電源スイッチを確認してください。 再生・録音・バックアップ中は書き込みの失敗を防止するためにフタの開かない(トレイが出てこない)仕様になっています。
音が出ない	音量を上げる ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く
ヘッドホンから音が出ない	ヘッドホンのステレオミニジャックが正しく差し込まれているか確認する。
音楽ディスクを入れても再生できない	文字のある面を上にも正しく入れる。
音声がでない	音楽ディスクか確かめる 再生ボタンを押す。
録音できない	音楽用ディスクか確かめる。 未使用ディスクでない場合はディスク内容を消去する(CD-RWのみ)
雑音が大きい	テレビ、電気器具などから離す。

CDの強制排出

※ この操作は本体の電源を切ってから行ってください。
非常用の操作なので、通常は行わないでください。

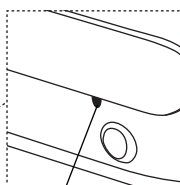
CDプレーヤー部



CDプレーヤー強制オープンホール

CDプレーヤー強制オープンホールに
硬い棒状のものを挿入し、押すことによって、
CDプレーヤー部のフタが開きます。
CDを取り出してください。

CDレコーダー部

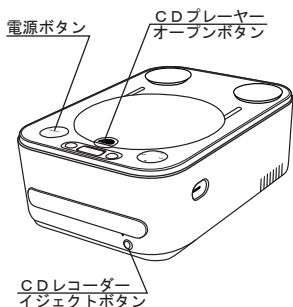


CDレコーダー強制イジェクトホール

CDレコーダー強制イジェクトホールに
硬い棒状のものを挿入し、押すことによって、
CDレコーダー部のトレイが出てきます。
CDを取り出してください。

音楽CDを録音する

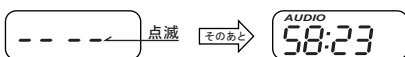
ディスクを入れる



1. 電源を入れます。電源を入れると、LCD表示がしばらくの間点滅表示します。その後「nocd」の文字が表示されます。



2. LCDに「nocd」の文字が表示されたら、CDレコーダー部に録音可能なディスクを入れます (10ページ「CDを入れる」を参照)。
3. CDプレーヤー部に録音元の音楽CDを入れます (10ページ「CDを入れる」を参照)。フタを開めると、LCD表示がしばらくの間点滅表示します。その後「AUDIO」の文字が左上に表示されCDの合計時間表示となります。



4. CDプレーヤー部に音楽CD、CDレコーダー部に録音可能なディスクがセットされ録音可能になるとNormalボタンが緑色に、Highボタンが赤色に点灯※します。

※ CDレコーダー部に入れられたディスクの録音可能時間が、録音元の音楽CDの合計時間より短い場合には、NormalボタンとHighボタンが、交互に点滅します。この時にNormalボタンまたはHighボタンを押して録音をした場合は、録音可能時間までの録音となります。

録音を開始する

注意) CD録音中は、電源を切らないで下さい。録音中に電源を切った場合、データが破損しディスクが正常に使用できなくなるおそれがあります。

録音準備中



音楽再生録音中



倍速バックアップ中



1. 音楽再生録音

音楽を再生させながら録音したい時は、Normalボタンを押して録音を開始します。再生録音準備中はLCDに「toc」の表示が点滅します。

準備が完了し、録音が始まるとLCD表示が

「CPOO%」に切り替わります。

録音中は押したNormalボタンが点滅し、録音の進捗具合を%表示します。

録音が始まると、録音が終了するまでボタン操作は受け付けなくなります。

2. 倍速録音

倍速録音したい時は、Highボタンを押して録音を開始します。録音中はHighボタンが点滅し、録音の進捗具合を%表示します。録音が始まると、録音が終了するまでボタン操作はできなくなります。

※ 倍速録音時は音楽再生できません。

録音の終了

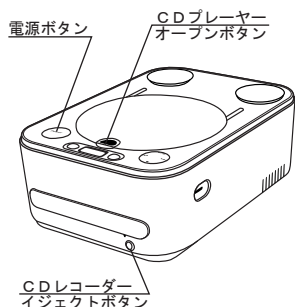


録音が終了すると「GOAL」と表示されボタンの点滅がとまります。

□ データCDをバックアップする

パソコンで使用するデジタルデータなど音楽CD以外のデジタルデータのいったCDを複製する場合

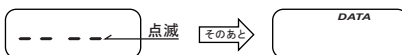
□ ディスクを入れる



1. 電源を入れます。電源を入れると、LCD表示がしばらくの間点滅表示します。その後「no cd」の文字が表示されます。



2. LCDに「no cd」の文字が表示されたら、CDレコーダー部にバックアップ可能なディスクを入れます(10ページ「CDを入れる」を参照)。
3. CDプレーヤー部にバックアップ元のデータCDを入れます(10ページ「CDを入れる」を参照)。フタを閉めると、LCD表示がしばらくの間点滅表示します。その後「DATA」の文字が右上に表示されます。



4. CDプレーヤー部にデータCD、CDレコーダー部に書き込み可能なディスクがセットされバックアップ可能になるとHighボタンが赤色に点灯します。



CDレコーダー部に入れられたディスクの記録可能サイズが、バックアップ元のデータCDのデータサイズより小さい場合にはバックアップできません、「no SP」と表示されHighボタンは点灯しません。

□ バックアップを開始する

注意) データCDのバックアップでは、倍速バックアップのみ対応です。

また、バックアップ中は、電源を切らないで下さい。バックアップ中に電源を切った場合、データが破損しディスクが正常に使用できなくなるおそれがあります。

倍速バックアップのみ



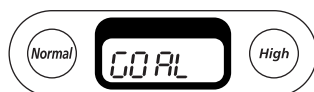
1. データのバックアップ

Highボタンを押してバックアップを開始します。

バックアップ中は、Highボタンが点滅しバックアップの進捗具合を%表示します。

バックアップが開始されると、バックアップが終了するまでキー操作は受け付けなくなります。

□ バックアップの終了

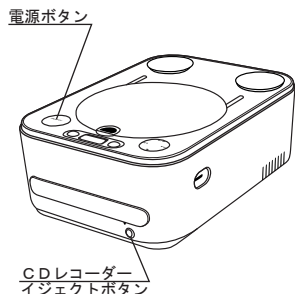


バックアップが終了すると「GOAL」と表示されボタンの点滅がとまります。

CD-RWの消去

CD-RWの内容を消去し、再度新しいディスクとして利用可能にします。

ディスクを入れる



1. 電源を入れます。電源を入れると、LCD表示がしばらくの間点滅表示します。その後「no cd」の文字が表示されます。



2. LCDに「no cd」の文字が表示されたら、CDレコーダー部に記録消去するディスク※を入れます(10ページ「CDを入れる」を参照)。

※ディスクにキズおよびほりがないことを確認してください。
キズやほりがある場合、正常に消去および記録ができない可能性があります。

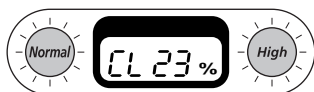
注意1) CDプレーヤーのフタが開いているとCD-RWの消去の操作を受け付けません。必ずフタを閉めてから操作してください。

注意2) 消去したデータは元に戻りません。十分注意して消去してください。

CD-RWディスク内のデータを消去する

消去には簡易消去と完全消去を選ぶことができます。

ボタンを同時に押す



1. 簡易消去

簡易消去は、NormalボタンとHighボタンを同時に短押し(約1秒)で開始します。

簡易消去は、ディスクの特定のエリアのみ消去することで利用可能にするため短い時間で消去が終わります。

消去中は、NormalボタンとHighボタンが同時に点滅(早い点滅)し、消去の進捗具合を%表示します。

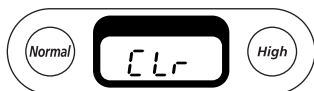
2. 完全消去

完全消去は、NormalボタンとHighボタンを同時に長押し(約3秒間)で開始します。

完全消去は、ディスクに記録されているデータすべてを消去します。そのため簡易消去に比べて時間が長くなります。

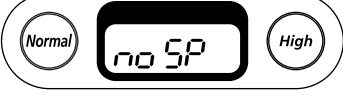
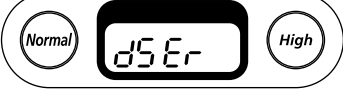
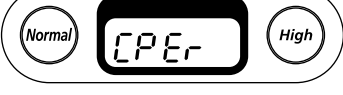
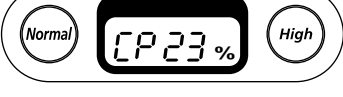
消去中は、NormalボタンとHighボタンが同時に点滅(遅い点滅)し、消去の進捗具合を%表示します。

消去の終了

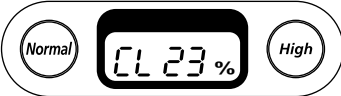
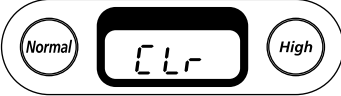
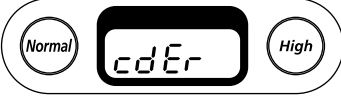


CD-RWの消去が終了すると「CL r」を2秒間表示します。

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意味
	CDプレーヤー部にディスクが入っていない状態。
	SCMSエラー SCMS (Serial Copy Management System) シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、 各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま バックアップできるのは、一世代だけと規定したものです。
	書き込み不可のディスクをCDレコーダー部に入れた場合。 ディスクを排出します。 ※記録済CD-RWの場合は排出されません。
	音楽CDを録音する際、CDレコーダー部に音楽用 CD-R／CD-RW以外のディスクを入れた場合。 ディスクを排出します。
	録音またはバックアップ元のディスクより、容量の少ない ディスクをCDレコーダー部に入れた状態。
	データトラックと音楽トラックが混在したディスクを CDプレーヤー部に入れた状態。
	曲番情報を書き込み中で再生を準備している状態。
	録音または、バックアップ中に書き込みエラーが発生した 状態。
	録音または、バックアップ中、進捗具合を%で表示。
	録音または、バックアップ完了。

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意味
	CD-RWのディスク内のデータを消去中、 進捗具合を%で表示。
	CD-RWのディスク内のデータ消去完了。
	CDプレーヤー部のエラー いったん電源をおとして、再度電源を入れなおしても 表示される場合は故障のおそれがあります。 エレコム総合インフォメーションセンターにお問い合わせください
	CDレコーダー部のエラー いったん電源をおとして、再度電源を入れなおしても 表示される場合は故障のおそれがあります。 エレコム総合インフォメーションセンターにお問い合わせください

仕様

CDプレーヤー部	読み出し：最大3倍速
CDレコーダー部	書き込み：最大3倍速
スピーカー部	インピーダンス：4Ω 最大出力：500mW + 500mW
電源	A Cアダプター(100～240V、50/60Hz)
消費電力	24W
外形寸法・重さ	178(幅)×249(奥行き)×89(高さ)mm(突起部含まず)・2kg
その他	ヘッドホン出力端子、光デジタル出力端子

保証とサポートサービス

■製品の保証とサービス

本製品には、保証書が付いています。保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎても修理は有料になります。

詳細については保証書をご覧ください。

保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・弊社の責任にならない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損

■サポートサービスについて

本製品のサポートサービスについては、下記エレコム総合インフォメーションセンターへお電話または、FAXでご連絡ください。

サポート情報、製品情報に関しては、インターネットでも提供しております。

エレコム総合インフォメーションセンター

電話番号 0570-084-465 F A X 番号: 0570-050-012

受付時間 9:00～12:00 13:00～18:00(年中無休)

インターネット

<http://www.elecom.co.jp>

修理の依頼

本製品が故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えてエレコム総合インフォメーションセンターへご連絡ください。

エレコム総合インフォメーションセンターへお電話される前に

エレコム総合インフォメーションセンターにお電話される前に次の事項を確認してください

- ・この取扱説明書の20ページ「トラブルシューティング」をお読みください。

CD RECORDER
PLEO-1
ELECOM